

I 定例役員・幹事会開催・・・第三期(前期)第1回

1月30日(土)(15:30～17:30)大阪市・中之島プラザ会議室にて開催されました。

出席者11名全員(敬称略・*委任状にての1名含む)
役員 松尾(会長)・三角(会長補佐)・阪本(会計)・西村(会計監査)
幹事 *酒井・青嶋・井内・兵藤・宮崎・柿塚・松永

会議の冒頭、今年度から新たに就任されました松尾会長から、ご挨拶がありました。〈写真1〉

【松尾会長のご挨拶】

今回11名の役員・幹事が選出されましたが、メンバー一同で先輩諸兄が築かれた基本理念、活動実績を踏まえ、会員相互の研鑽、親睦を図ると共に、日吉寄宿舍更には慶應義塾の発展に寄与するお手伝いが出来ればと考えております。また、慶應義塾のキーワードである「社中協力」「半教半学」の精神を活動のベースとしたいと考えています。

春秋の定例懇談会には、会員の皆様方に楽しんで頂ける企画を考えていますので、よろしく願います。

ご挨拶に引き続き、下記の議案について協議しました。

【議案1】 第二期(後期)第7回・8回懇談会についての報告

- ・第二期最終会計報告
 - ・第二期広報活動報告・・・新聞(15号、16号)
- 関西慶應寮和会三年間の歩み

【議案2】 第三期(前期)第9回・10回定例懇談会について

- ・全体的な運営方針や実施原案(次ページ)を基に実施について協議し、右記をベースに企画を検討することになった。



写真1. 松尾会長よりご挨拶(中央)

2016年度定例懇談会 企画案

<春の定例懇談会>

開催日 5月21日(土) or 5月28日(土)
開催場所 「NHK大阪放送局の見学、
大阪城・真田幸村ゆかりの地散策」

<秋の定例懇談会>

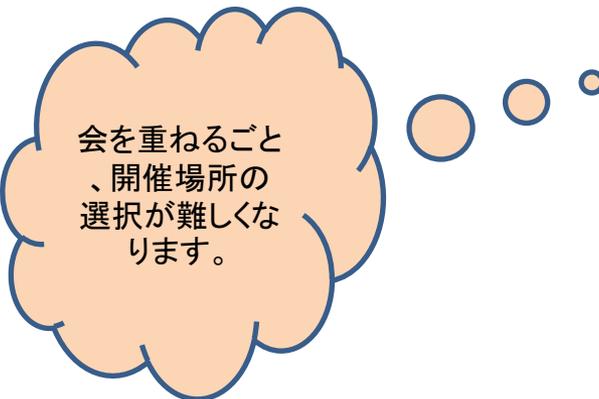
開催日 11月12日(土) or 11月19日(土)
開催場所 「サントリー山崎蒸溜所の見学
大山崎山荘美術館鑑賞
天王山頂・山崎城址散策」

2016年定例懇談会 実施原案

最後に、松尾会長から各幹事に対して、新たに役割が委嘱されました。

<役割分担>

事務局長...青嶋、事務局長補佐...阪本・井内
広報室長...松永、広報室長補佐...宮崎
会計補佐...兵藤
現役寮生窓口...柿塚



会を重ねると、開催場所の選択が難しくなります。

企画候補（たたき台）

(1) 企業訪問

①会員の勤務先

車輛基地 テレビ局 明石海峡大橋 重工・電機・ゲームメーカー

【実績】奈良女子大学記念館、発電所、松竹角座

②一般開放施設

サントリー山崎蒸溜所、インスタントラーメン発明記念館、神戸酒心館、UCC 六甲アイランド工場

【実績】月桂冠大倉記念館、サントリー京都ビール工場

(2) 文化・芸術・芸能・スポーツ

吉本新喜劇、京都鉄道博物館

【実績】逸翁美術館、宝塚歌劇、角座、慶早ラグビー

(3) 散策

①人物

【実績】福澤諭吉、小林一三、志賀直哉、田辺朔郎、細川ガラシャ

②建造物

姫路城、大阪城、ハルカス、通天閣、彦根城

【実績】適塾、寺田屋、頭塔、水路閣

③観光

【実績】十石舟。どうとんぼりクルーズ

④地域

嵐山、彦根・長浜、大阪新世界、

【実績】中之島、伏見、池田、奈良公園、蹴上、大阪みなみ、長岡京

定例役員・幹事会の終了後(17:30~19:30)、新年会を中之島プラザの割烹くうおまん中之島店>で開催しました。

その席で、新幹事の井内さんと柿塚さんから話を伺いました。

井内さんは昨年まで東京で仕事をされており、転勤で関西に戻ってこられました。また柿塚さんは、大学院博士課程に学ぶ現役の学生とのことで、若いお二人が参加して頂くことで、平成卒の若手も参加しやすい関西慶應寮和会になるように盛り上げてもらえると頼もしく感じました。

最後に、当該懇親会にお招きした前会長補佐の増田さんより、第Ⅱ期旧体制への感謝と第Ⅲ期新体制への激励の言葉がありました。

“これまで全力投球したので <些か>の後悔・グチもない！
“今後は <黎明期>の 一兵卒として 求められたらモノ申す！
“願わくば礎を築いた <楼閣>をアト戻りさせないことを！
<写真2>

最後に、松尾会長のもと新たに発足した第Ⅲ期関西慶應寮和会の健闘を誓い合い、散会としました。<写真3>

II OFF-TIME

松尾会長は、既に第12号で紹介済みですので、三角会長補佐にインタビューしました。(三角OBは<写真3>の後列左から3人目)

趣味はジョギングとのことで、笑顔で話して頂きました。

<三角OBのお話し>

ジョギングしている場所は、神戸の運動総合公園やオリックスバッファローズの「ほっともつとフィールド神戸」です。春は桜並木を走り、夏は野球の花火ナイトで、走りながら花火を見たり、秋は紅葉のメタセコイヤの並木を走ります。(週1回程度)

現在東京に単身赴任しており、東京で休みを過ごすときは、寮の近くを流れる多摩川のジョギングコースを走っています。ジョギングの後で飲むビールもうまいものです。というのは昨年までの話で、今年になって膝痛が原因で現在ジョギングは休養中。今はウォーキングする妻の後をとぼとぼと歩く生活です。とりあえず今は膝痛を治して、ジョギングを再開するのが目標です。



写真2. 増田さんからご挨拶(懇親会にて)



写真3. 懇親会 語らいの後で

Ⅲ 記者雑感

1月30日(土)に、大阪中之島で開催の定例役員・幹事会に出席する道すがら、大阪高島屋で開催されていた<山崎豊子展>に行き来しました。

私は月に2冊ほど本を読むことにしているのですが、その中でも山崎豊子と司馬遼太郎の本を愛読書にしています。(お二人とも大阪とゆかりの深い方でした)

山崎豊子さんは、2013年9月に惜しくも亡くなられたのですが、豊富な取材と自らの魂をぶつけるその書きぶりには、ただただ圧倒されてきました。

今まで読んだ本で特に感動したのが、映画化されてご存じかと思いますが「沈まぬ太陽」です。主人公:恩地元(はじめ)は、組合活動の先頭に立っていたために、十年近くも海外僻地へのたらい回し報復人事を受けた。しかし心折れることなく、弱い者と共に戦う自らの生き方を貫くが、その後航空機事故で、自分達よりはるかに苦しんでいる遺族の姿に心打たれる。最後は、またアフリカの地で今までとは違った思いを持って、「沈まぬ太陽」に別れを告げる。そんなストーリーです

展示展では、映画で恩地元を演じた渡辺謙さんの山崎豊子さんあての「私の長年探し求めていたのは恩地元の姿。何としても演じさせてほしい」との直筆の手紙も有り、原作者と俳優の作品に対する熱い思いが感じられました。

その他にも、「華麗なる一族」「白い巨塔」「運命の人」等の名作は読んでいますが、初期の作品(山崎豊子さんの生まれである大阪の商家の話が多い)も、是非読みたいと考え、早速「花のれん」(第39回直木賞)を買って求めて来ました。

後でお聞きしたことですが、松尾会長も、同じ日に<山崎豊子展>に行かれていたとのこと。奇遇ですねと話しています。皆様も、忙しくてなかなか本を読む時間も無いかと思いますが、もし良い読書ネタをお持ちであれば教えてください。

この新聞で取り上げていきたいと思えます。

最後に

第Ⅲ期役員・幹事も松尾会長のもと、前回以上の楽しい企画を行い会を盛り上げていきたいと、メンバー一同意気込んでいますので、会員の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。また、広報室も新たに、若手の宮崎幹事が参加してくれることになりましたので、Webも活用し、より広く皆様とのコンタクトを図れるようにしていきたいと考えています。

以上

「沈まぬ太陽」の刊行記念サイン会で笑顔を見せる山崎豊子さん



社会派小説の金字塔を打ち立てた作家、山崎豊子さん。2013年9月29日に89歳で亡くなったが、不条理に立ち向かう壮大な人間ドラマに涙し、勇気づけられた人は多いだろう。その創作の激しい営みに迫る初めての展覧会「追悼 山崎豊子展」不屈の取材、情熱の作家人生」(主催:NHKフロンティア近畿、特別協力:毎日新聞社)が20日から2月1日まで、大阪高島屋7階グランドホール(大阪市中央区難波5)で開かれる。医学界や金融界の闇の実像、さらに昭和の戦争が個人にもたらした悲劇などを詳細につかむために費やした膨大な取材の足跡をたどれるうえ、最近見つけた戦時下の日記などを展示する。小説の多くが映画やドラマになっただけに、映像展示も充実。山崎文学の魅力堪能する機会になること請け合いだ。

【鶴谷真】

追悼 山崎豊子展

あすから大阪高島屋(なんば)で

山崎豊子展 記事(毎日新聞 2016年1月19日(火)朝刊)